

白根北中学校
学校だより

教育目標
自立 友愛 勇気



目的は何ですか？

中学生の頃、テストの前に漢字を覚えるのが苦手でした。国語の先生

A 覚えるまで書けばいいじゃん。
私・・・

からは、「最低5回は書いて覚えなさい」と言われていたので、いつも漢字を5回ノートに書きテストに臨んでいました。しかしどうしても結果が伴いません。

ある日の帰り道で、漢字の得意な友人(A)に聞いてみました。

つまり私は漢字を5回書くことだけが目的だったのに対し、友人は漢字を覚えることが目的だったのです。友人と私とではまさに目的が異なっていたのでした。もちろん、私の心の中に、何度も繰り返し書くのが面倒だという気持ちもあったはずです。

私 漢字はどうやって覚えるの？

A 5回は書いて覚えるよ。

私 5回で覚えられなかったら？

A 10回書く。

私 (えっ。そんなに？)

じゃあ10回でも覚え

られない時はどうする？



少し話題を変えます。現在はまだ亡くなられた、落語家の桂小金治(かつらこきんじ)さんという方がいました。桂さんについて、以前に勤務した学校の学年便りにこんなお話が紹介されていました。

時は昭和の初め。桂さんが少年の頃のこと。桂さんは父親に、ハーモニカを買ってくれと頼みました。当時、ハーモニカはとても高価なものでした。日本はまだまだ貧しく桂さんの家も決して裕福ではありませんでした。

桂さんからハーモニカを買ってほしいと言われた

父親はおもむろに

柿(さかき)の

葉を手にして口に

当て、葉笛にして童謡

『ふるさと』を吹いて見せ

「お前にもできる」と言いました。

桂さんは父親から言われた通り、

葉笛の練習を繰り返ししました。でも

どれだけ練習してもうまく吹けま

せん。桂さんが諦めそうになった時、

父親がこんな言葉を教えてくれま

した。



一念発起は誰でもする。努力までならみんなする。そこから一步成長するために、努力の上に辛抱という棒を立てる。この棒の上に花が咲く。

桂さんが練習を重ね、とうとう

葉笛を吹くことができるように

なった翌朝、枕元にそっと

ハーモニカが置いて

あったそうです。

桂さんは生涯、父親の

言葉を大切にしたいと言います。



テスト中 解ける問題なさすぎて

止まらぬ手汗 動かぬペン先

〔現代学生百人一首〕より

上尾市立西中学校2年 佐伯 舞衣さん

佐伯さんの気持ちもよく分かる

私です。今年度の最初のテストが

近づきました。しっかり準備をして

臨みましょう。

◆ 教職員も研修中③ ◆

4月30日(水)は白根北中学校区の『小中連携事業』でした。同じ中学校区の大鷲小学校、根岸小学校、大通小学校の3校からたくさんの方々が集まりました。

この日は5限の授業を参観してもらいました。参加した皆さんは、小学生の頃より大人になった姿に驚く方がたくさんいました。一方の生徒たちは、小学生の頃にお世話になった先生方の顔を見て、何となく恥ずかしがる様子も見られ、微笑ましく感じました。



参観後は5つの委員会に分かれ

小中連携して取り組む内容を確認しました。合同で行う研修会は今後、8月と11月にも行う予定です。

◆ 参観ありがとうございました ◆

5月2日(金)に授業参観、PTA総会、学年PTAがありました。



当日は午後から雨模様の天候でしたが、たくさんの方々の保護者の皆さまからおいでいただきました。大変ありがとうございました。今年度1年よろしくお願いたします。

◆ 第1回CSがありました ◆

5月7日(水)は、今年度最初の学校運営協議会(CS)が行われました。学校運営協議会は令和4年度以降、市内のすべての小中学校等に導入されたものです。地域と学校、保護者が手を携え、地域総がかりで子どもたちの成長を見守ることが目的で、教育ビジョンの承認や学校運営に関する意見をのべることができます。今年度、白根北中学校の学校運営協議会でお世話になる皆さんをご紹介します。(敬称略)

令和7年度 学校運営協議会の皆さん

会 長	棚村真寿美	委 員	石田 亮
副会長	片桐 豪	委 員	笠井 良治
委 員	高橋 潤一	委 員	織田 絹子
委 員	真柄 涉	委 員	星野 誠
委 員	高橋 春夫	委 員	山口 靖博
委 員	志賀 康則	委 員	広野 尚子



*当日、星野さんはご欠席

連休が終わりました。少し疲れが
出始める時期です。心身をゆつくり
普段の学校生活のリズムに戻して
いきましょう。

令和7年5月14日(水)

令和7年度 第3号

文責 校長 山口 靖博